江田島市地域自立支援協議会

就労支援部会　令和５年度活動報告及び令和６年度活動計画

令和５年度活動報告

開催回数及び開催日	４回 令和５年６月 22 日（第１回）、令和５年９月 21 日（第２回）、 令和５年 10 月 19 日（第３回）、令和６年１月 25 日（第４回）
出席機関	当事者、当事者家族、江田島市商工会、呉公共職業安定所、 呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、ひまわりくらぶ江田島、 福祉サービス事業所 りんりん、ＳＥＬＰ江能、ワークセンターおおきみ、 自立支援センターあおぞら、くらしサポートセンターえたじま、 社協無料職業紹介所、広島県呉特別支援学校江能分級、吉田病院、 江田島市産業部交流観光課、（株）藤三、誠心園居宅介護支援事業所、 社協　地域福祉課、おひさま、サンライズ大君、安芸太田町社協、 誠心園居宅介護支援事業所、吉田病院、江田島市市民生活部税務課、 江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、 江田島市福祉保健部社会福祉課
活動内容	１　各事業所における現状及び課題について （１）　各事業所の現状や課題 ア　ひまわりくらぶ 就労継続Ａ型事業所：定員 20 名、施設外 20 名。利用者数江田島が 19 名、施設外（広島）に 16 名。 作業内容：アイスの製造、ペットフードの充填、江田島荘の洗濯、中国化薬のダイナマイトの筒作り、福屋のギフト箱詰め。 課題：支援者の質の向上。利用者のステップアップに繋がるよい指導ができるように考えているが、時間に追われる日々で、個々に対応していくことが難しい。 イ　ＳＥＬＰ江能 就労継続支援Ｂ型：定員 20 名のうち、利用者は 15 名。 作業内容：盆灯籠作り、セーラー万年筆からのボールペンの組み立て、グリーンファーム沖美からのトマトパックのシール貼り。そのほか、買い物や慰労会など、日頃行えないこと等を行っている。 課題：高齢化に伴い、作業量がこれまでの量をこなすのが難しくなることや、作業工程を担当している方ができなくなった時に引き継ぐ人がいない。作業の引継ぎ等をしているがまだ時間がかかる。 ウ　ワークセンターおおきみ 就労継続支援Ｂ型：定員 10 名のうち、利用者は 11 名。令和４年度の平均工賃は 12,100 円程度。 生活介護：定員 10 名。 作業内容：セーラー万年筆の部品の組み立て・点検、花の苗（種から育成）の販売、貝殻作業、軽作業。 課題：事業所収入と平均工賃の維持。利用者の高齢化に伴って作業量の低下があり、工賃も増えない。また、県から定員を守ることを厳しく言われるようになっており、登録者を増やすこともできないが、精神障害の方は利用率が低くなりがちで休まれるとその分事業所のサービス報酬も減る。

エ　自立支援センターあおぞら
就労継続支援Ｂ型：定員 20 名。
就労移行：定員６名。
生活介護：定員　９名。
就労定着：登録数　３名。
９月、10 月で１名ずつ増える予定。
作業内容：盆灯籠の作成、牡蠣の種付け用の貝殻通し、アルミ缶の回収、市役所からの清掃活動、小物づくり（ハギレマット）。
施設外活動でグリーンファームのトマト拾い、草刈り。
課題：就労継続支援Ｂ型の定員がいっぱいで、超えている状況。新規利用希望もあるが、相談があっても受け入れることができていない。灯籠の販売本数が減少していく可能性を考え、今後の作業をどのようにシフトチェンジしていくかを考えていかないといけない。利用者間で特性もあるが、作業内容や意識に差があり、進行や１日の生産本数にばらつきがある。職員が話を聞き対応し、社会生活力の面も支援ができるようにしている。

オ　りんりん（報告のみ）
就労継続支援Ｂ型：登録者 18 名。利用者数は 17 名で、平均利用 11 名。
作業内容：きくらげの栽培・販売、貝殻通し（穴あけ、通し）、（トマトの）シール貼り、濱口醤油（箱折り等）
課題：利用が半日や毎日来られない方が多いため、作業の効率が上がらない。工賃を時間給に変更したことで１日通所できる人の工賃は上がったが、半日の人は少し下がっており、全体的に工賃が下がっている。
呉（警固屋）の方の利用相談があったが、職員体制や送迎の問題もあり難しさを感じている。しかし、家族が強く希望されている様子があり、検討している。音戸大橋を超えて送迎してくれる事業所があれば、と思っている。

（２）関係機関からの情報提供及び課題
ア　呉安芸地域就業・生活支援センター
（ア）障害者雇用での就労の流れについて
江田島に関しては、就労移行支援事業所（あおぞら）からの就労者が主な形になっている。ハローワークと連携してサポートしており、ハローワーク登録時になかぽつにも登録。精神障害をお持ちの方に関しては主治医の意見書を出してもらってからの登録になっている。就職希望の方については、まずハローワークかなかぽつに連絡をもらい、面談をしていく流れになっている。

（イ）就労継続支援Ａ型（ひまわりくらぶ）の利用及び障害者雇用での就労の流れについて
ひまわりくらぶへの利用については、ハローワークへの登録後、見学。実習面接時にはハローワークの紹介状が必要となるため、まずはなかぽつに連絡してもらい、ハローワークと連携しながら支援をしていく。実習は５日間設定しており、その後に合否が決まる。
他機関の方の協力のもとに本人の就職に向けての支援をしていく。希望者がいれば声をかけてください。

	イ ハローワーク 障害者雇用について、来年４月より労働時間が週 10 時間以上 20 時間未満で働く方も雇用率に算定できるように範囲が拡大されるため、就職希望があり週 10 時間以上働ける方がいれば、これを踏まえた上で就職に向けた相談を受けていく。 江田島市の障害者求人は少ない。開拓を検討しており、ハローワークの求人開拓推進員が事業所等訪問をしながら、障害者、女性、高齢の方の求人の打診をしているが、結果に結び付いていない。ハローワークでの紹介時には、一般求人の中から週の就労時間等や本人の希望、主治医意見書に合致するようなものを案内している。 ２　障害者雇用当事者からの報告会「当事者・障害者による障害のある方の就労支援事例発表会～福祉から就労～」について （第３回就労支援部会として開催。） 日時：令和５年 10 月 19 日（木）10：00 ～ 12：00 会場：江田島市大柿市民センター　集会室 対象者：働きたい障害のある方、障害者雇用での働き方を知りたい方 （ご本人、ご家族、支援者、企業担当者） 内容：就労移行支援、就労定着支援とは 就労支援事業所から就職した当事者からのメッセージ（２名） 江田島市内の就労支援事業所からの事例発表 雇用事業主からの事例報告 ハローワークからの情報提供 参加者：56 名。参加者内訳、当事者、支援者半数。 アンケート結果：発表は「わかりやすかった」72%、内容に関して、報告者全員に対し「よかった」との意見が 25%前後。「また参加したい」という声が 79%と多くあった。 ３　障害がある方の活躍を応援する！えたじまーけっと（障害者福祉事業所製品の市町庁舎販売キャンペーン）について 日時：令和５年 12 月７日（木）　11：00 ～ 15：00 場所：ゆめタウン江田島 内容：ふれ愛プラザ及び市内事業所の商品、製品の販売 事業所紹介（パネル展示） 来場者数　：約 190 名（ノベルティ配布数でカウント） 販売スペースが狭かった等の課題もあったが、当事者は自身が作成したものを直接販売したことでモチベーション向上につなげることができた。また、キャンペーンの目的である市内事業所の販売促進につなげることができた。 販売を定期的に開催する等、方法を検討しながら、来年度以降も開催に向け協議を行う。

令和６年度活動計画

開催回数	４回 定例会終了後に開催予定
出席機関	江田島市商工会、呉公共職業安定所、 呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、江田島市手をつなぐ育成会、 ひまわりくらぶ江田島、福祉サービス事業所りんりん、 自立支援センターあおぞら、ＳＥＬＰ江能、ワークセンターおおきみ、 くらしサポートセンターえたじま、社協無料職業紹介所、 呉特別支援学校江能分級、江田島市産業部交流観光課、 江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、 江田島市福祉保健部社会福祉課
検討内容	・事業所における現状及び受け入れ状況の確認 ・えたじまーけっとについて